

令和5年度「多忙化改善計画」について
～子供たちのために心身共に元気な教員であるために～

甲府市立相川小学校

「教職員が子供たちと向き合う時間」、「わかりやすい授業づくりのための教材研究時間」を確保して、私たちの本来の主業務が確実に実行できるように取り組んでいきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 会議の効率化に取り組めます。

- 職員会議をはじめとする校内会議の資料は、事前配付とし、事前に確認しておきます。
- 討議事項と連絡事項を明確に区別して、時間内に終了するようにします。
- 電子掲示板を活用して、報告・連絡などの周知事項の効率化を図ります。

2 ICTを活用し、業務の改善を図ります。

- 欠席届の電子化を実施し、朝の業務を精選します。
- 学校からの通知の配付を電子配信に移行し、印刷や配付に関わる業務を精選します。
- 1人1台端末を活用し、教材の作成や、学習評価業務にかかる負担を軽減します。

3 出退勤時間の管理を行い、健康な心身で児童に向き合えるようにします。

- 時間外勤務時間の月合計時間が45時間以上にならないようにしていきます。
- 留守番電話の活用により、時間外勤務の削減を図ります。

4 学校行事の内容・方法について見直し、改善を図ります。

- 子供の思いや目指す児童像を基準に、これまでの積み重ねで増えてしまっている学校行事について内容や方法の工夫を図り、改善し見直します。
- ポストコロナ期においても、伝統や慣習にとらわれず、目の前の児童の成長を重視した教育活動を展開していきます。

5 学校内外の環境整備を行い、児童と教員にとってよりよい環境にします。

- 子供たちの安心・安全は元より、「つかいやすさ」「わかりやすさ」を意識したユニバーサルデザインの考えに基づいた環境整備を行います。
- 教職員の働きやすさ、仕事のやりやすさを意識した職場の環境改善を図ります。
- ICT機器を活用し、個別最適な学びの機会を創造します。

6 多様なマンパワーを学校運営に生かしていきます。

- 地域の教員OBの皆様、学生ボランティア様、保護者ボランティア様を募り、適材を適所をお願いする形で、児童の学習支援にあたっていただきます。
- 多様な人材に支援していただくことで、開かれた学校づくりを進め、協働的な学びの機会を広げていきます。